

エコサスティナブル・アリソウ： 本邦産資源を活用した持続可能な飼料の開発

本取り組みは、国内資源を活用し、輸入飼料への依存度を軽減するとともに、環境負荷の削減を目指します。バイオマス資源を本邦産昆虫オオシロアリにより高タンパク質な飼料へと変換し、持続可能な農業を支援します。。

（目標）

国内資源を活用することで、安定した生産量と適正な価格を実現する飼料を提供します。そのため、森林資源を基に生産した本邦産昆虫オオシロアリを活用し、新たな飼料「アリソウ」を開発します。

（バイオマス資源の利用）

オオシロアリは、セルロースを効率的に消化し、高品質なタンパク質を生産できる昆虫です。山林から切り出した木材だけでなく、食品廃棄物など都市に眠る未利用資源を有効活用し、価値ある飼料へと変換します。

（先進的な生産システム）

この取り組みの中核技術は、昆虫オオシロアリの増殖と成長を管理する閉鎖型生産システムです。この仕組みにより、安全かつ効率的な飼料生産を実現します。

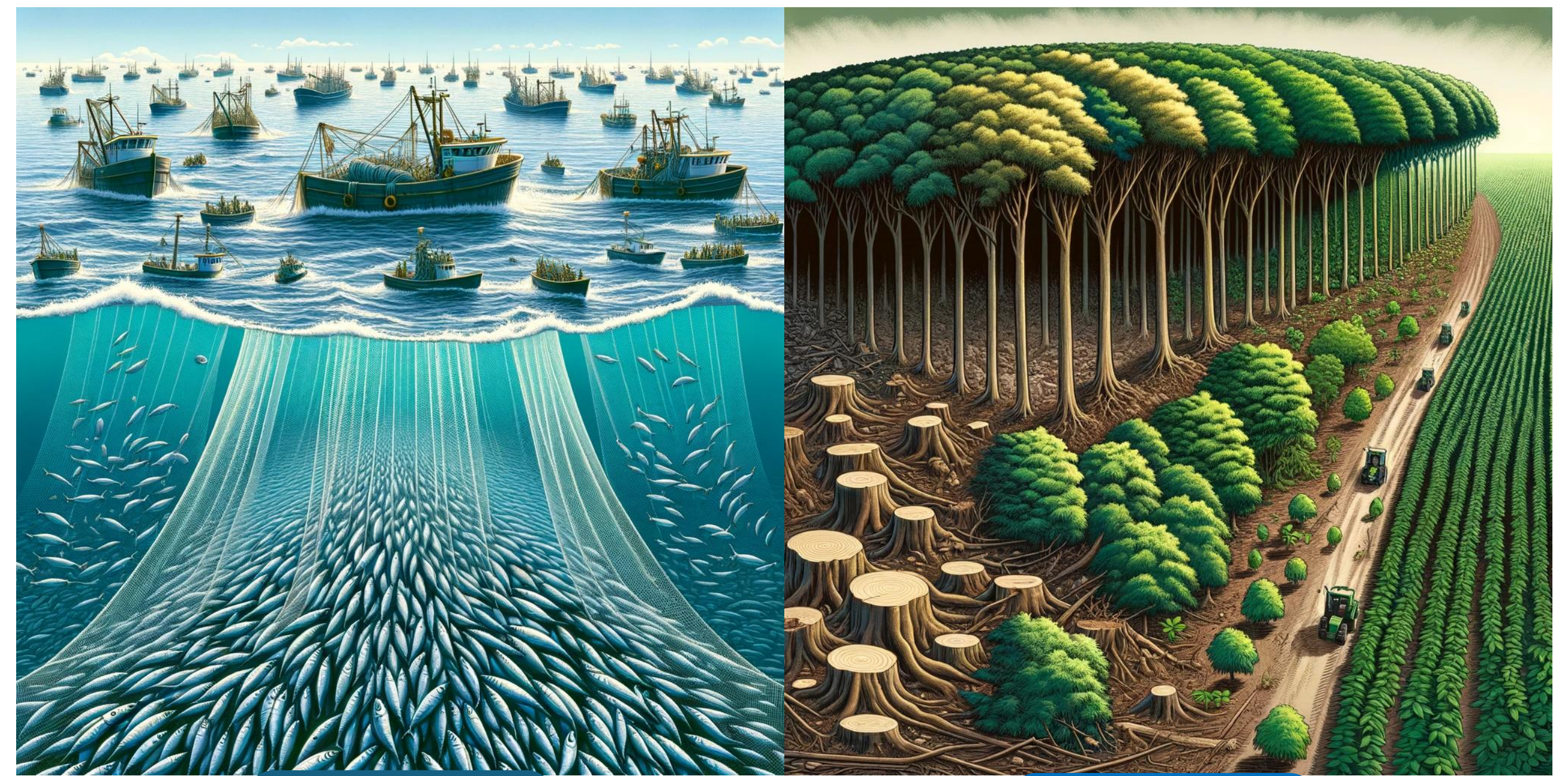
（農業・食品産業への貢献）

「アリソウ」の導入により、為替変動の影響を受けにくい安定した飼料供給が可能になります。また、環境負荷の少ない畜産を実現することで、持続可能な消費を重視する市場に向けた食品の安全性と品質向上を訴求できます

（協業パートナー募集）

この取り組みに共感し、協力できる企業を募集しています。特に、未利用バイオマス資源の処理・活用を検討する企業、またや飼料・食品の営業・販売ネットワークを有する企業との連携を求めています。

畜産を支える飼料タンパク質（現状）



魚粉

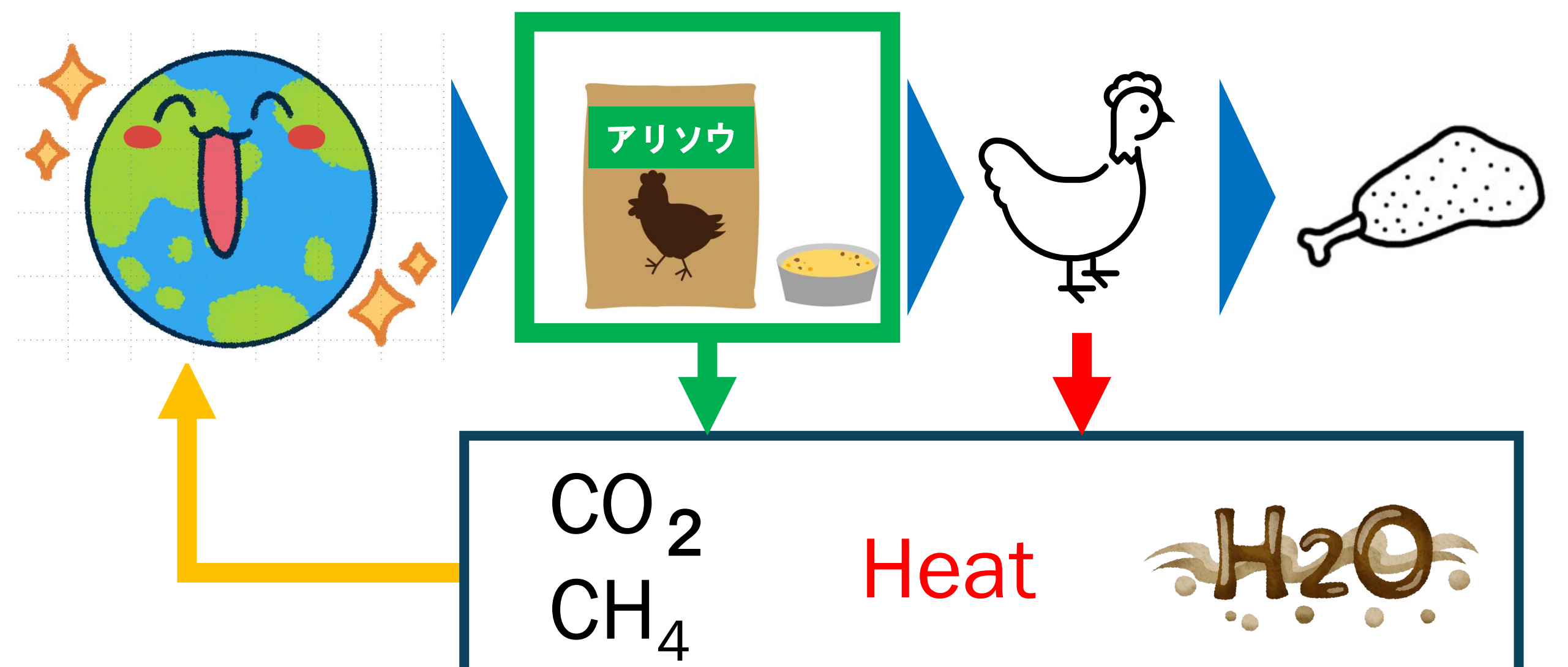
大豆粕

生産施設予想図



畜産を支える飼料タンパク質

あるべき姿：自然環境への負荷を緩和



（会社概要）

バイオマス資源開発合同会社
HP: <https://www.biomassrd.com>